

諮問

# 「市の将来」意見を求める

市の基礎づくりをするため、行政改革推進委員会と各地域5つの地域審議会への諮問が行われました。

### 行政改革推進委員会

行政改革推進委員会の初会合が5月23日、堀金総合支所で開かれました。

今回は、正副会長の選出や「行政改革大綱」を策定するための諮問が行われました。「行政改革大綱」は、まちづくり計画（新市建設計画）を進めるもので、行政改革の指針となるものです。

今回の諮問の内容は①市民との協働による市政の推進②健全な財政基盤の確立③職員管理・給与の適正化④業務の効率化⑤スリムで柔軟な組織・人事体制の構築⑥公共施設の効果的な利用の6項目で、10月の策定に向け、同委員会は、8月までに答申

をまとめます。

平林市長は「この合併を行政改革のチャンスと捉えており、答申を受け、簡素で効率的な自治体としての安曇野市を目指したい」とあいさつしました。

行政改革推進委員は、公募による3人を含む市民15人で構成され、白沢亀内さんが会長に、浅川文彬さんが副会長に選出されました。

### 地域審議会

5地域の地域審議会への諮問が6月2日、堀金総合支所で行われました。

この諮問は「安曇野市総合計画基本構想」にかかわる地域課題・将来像について、各地域審議会に意見を求めるも

のです。

「安曇野市総合計画」は、まちづくり計画（新市建設計画）を基本にし、新しいまちづくりの指針を定めるもので、平成18年度、19年度の2カ年での策定を予定しています。

平林市長は「5つの流れを大きく、ゆったりとした一つの流れとするため、現状を認識した上で地域ごとの特色、良い点、悪い点を探り、その中から市としての将来像を答申いただきたい」とあいさつしました。

地域審議会は、旧5カ町村の区域ごとに合併後の地域の意向を反映させることを目的に設置された組織で、今回の諮問を受け、来年の3月までに答申をまとめます。

新市のまちづくりは内外から注目されている（写真：地域審議会への諮問）↓

観光

# 10月に安曇野フェスタ開催

安曇野の文化・産業などを一堂に集め、安曇野ブランドをPRし、市民の一体感を高めることが狙いです。



市内の20団体が集まり、イベントの開催概要を承認

安曇野フェスタ実行委員会設立総会が5月22日、三郷公民館で開かれました。安曇野市発足1周年を記念して行われる安曇野フェスタは、10月7日（土）と8日（日）に開催される予定で、安曇野の文化・産業などを一堂に集め、県内外に安曇野ブランドをPRするとともに、市民の一体感を高めるためのイベントにする予定です。この日の設立総会には、市や市内各地域の商工会、観光協会、国営あづみの公園など約20団体が出席。開催概要などを承認しました。実行委員会長の平林市長は「広く市民の皆さんの参加を得ながら安曇野をPRするとともに、将来市で一番のイベントにしたい」とあいさつしました。イベントの内容は、1周年記念セレモニーやシンポジウム、安曇野の四季などをハイビジョンカメラで撮映した映像の上映、安曇野郷土芸能大集合、友好都市などの特産品販売が予定されています。

## 明科「せせらぎ」が県協会建築作品賞受賞

明科自然体験交流センター「せせらぎ」が、このほど平成18年度第8回建築作品賞（社団法人長野県建築設計事務所協会主催）の優秀賞に選ばれました。

同センターは、平成16年3月明科水辺の楽校の隣接地にオープンしました。採光や風力・太陽光を利用するなど環境に配慮した取り組みが評価されたほか、半円すい形の屋根に覆われた建物の中心部を屋外と一体的に利用できるように設計され、周辺の景観に調和している点が評価されました。

